



Leaf

平成26年4月
盛岡市三本柳6-1-1
盛岡赤十字病院
地域医療連携室
発行責任者 院長 松田 壯正

盛岡赤十字病院医療連携だより No.28

基本理念

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します。



+ 新年度の御挨拶

院長 まつ 松 た 田 もり 壯 まさ 正

拝啓

桜前線が県内を急いで通り過ぎていき、春本番、良い季節となりました。皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新年度になり、当病院は新しいスタッフで活動いたしております。「人道・博愛」の赤十字精神をモットーに地域医療に力を尽くしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

当病院は連携医療機関をはじめ関係各所の皆様のご協力を得て成り立っております。心から感謝申し上げますとともに、皆様の貴重なご意見にもとづき改善を進めてまいります。まず、患者さまのご紹介をより簡単にスピーディにするため地域医療連携室を強化いたしました。4月から専任の看護師長がおりますので、ためらわずにご連絡いただくと助かります。紹介用ファックスの形式も簡便なものに変えてまいりますとともに、ご承諾いただける機関には当病院の医師と直接連絡が取れるよう、医師のPHS番号をご連絡いたします。急性期の診療が終了次第経過をご連絡いたし、今後も患者さまの診療をお願い申し上げます。皆様と密に連絡が取れることで前方・後方ともに血のかよった医療が可能と考えております。

末筆になりましたが皆様のご健康とご繁栄を祈念いたします。

敬具

新年度の御挨拶



副院長 ^{あさひ}旭 ^{ひろし}博史

平成26年診療報酬改定では、政策誘導により在宅復帰の促進と共に地域包括診療料が創設され、かかりつけ医機能がさらに評価されました。「住み慣れた地域で普通の暮らしを支え、救急治療、医療と介護は一体的であるべき」とされ、機能分化と地域包括ケアの推進を目指しています。

当院では昨年より診療所「かかりつけ医」の先生、メディカルスタッフの方々との交流を深め、「顔の見える連携」を推進しております。ここ数年で、病院診療には多職種による「チーム医療」が普及しています。これまで、栄養サポートチーム、緩和ケアチームの活動を通じ、近隣の医療施設のメディカルスタッフと一緒に勉強会を行い地域連携をすすめてきました。また、開設5年を迎えた緩和ケア病棟では診療、看護すべてが「チーム医療」で行われています。地域包括ケアシステム構築にはこの「チーム医療」が強く求められていると思われま。

これからも、ますます各病院や診療所の先生方と多職種のメディカルスタッフとの連携を密にして、患者さんの紹介や逆紹介がスムーズに行われるように努力していきたいと思ひます。いままでと同様に、「安心・安全で良質の医療」を実践し続けて行きます。地域の医療機関のみなさまのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお祈りいたします。



副院長 ^{いちかわ}市川 ^{たかし}隆

いつも貴重な症例をご紹介いただきありがとうございます。すでにご存知とは思いますが、総合内科医師退職に伴い、今年4月からは従来の外来診療体制を継続することが不可能になりました。具体的には、糖尿病、神経筋疾患、重症呼吸器疾患について、ご紹介いただきましても十分な診療を行うことができません。

大変恐縮に存じますが、ご紹介いただきます際に、この点をご考慮頂きますようお願いいたします。消化器科、循環器科、血液内科は従来どおりの診療を行いますので、いつでもご紹介いただければ幸いです。

また、医師数減少により、現在の当直体制（外科系、内科系、各1名）の維持が困難になりました。岩手医大と中央病院と組織する輪番制の輪番日には従来の体制で臨みます。また、非輪番日の土曜、日曜、祝日の日勤帯は2人体制で行いますが、それ以外の非輪番日は1名の全科当直となるため、従来どおりの受け入れが困難になります。該当日にご紹介いただく際は、受け入れ可能かどうかの確認の連絡を入れていただくようお願い申し上げます。

諸先生方のますますのご健勝をお祈りいたします。



副院長 ^{くぼ}久保 ^{なおひこ}直彦

日頃は脳神経外科へ脳卒中、外傷などの急性期疾患中心にご紹介いただき、また当院退院後は専門病院、診療所、介護施設、回復期リハビリ病院各位様にはお世話になり、ありがとうございます。この度副院長を拝命いたしました。従前にも増して皆様との医療連携を円滑に進めていきたいと考えておりますのでよろしくお祈りいたします。

また、皆様のご意見、ご批判や、また医療連携では当院のどこに連絡して良いかわからないという場合に承るのが私の役目と思ひます。この度連携医療機関様には院内PHSの番号も公開いたしますので、どうぞ直接ご連絡ください。当院の診療状況につきましてはいろいろご心配を頂く声がございます。確かに医師の減少、高齢化など厳しい状況もござひますが、できうる限りの診療態勢を維持し、皆様に期待される医療を保ちたいと思ひます。一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新任医師紹介



あお き き いち
青木 毅一 平成26年4月採用

出身地：岩手県盛岡市
出身大学：秋田大学平成6年卒
趣味：登山
平成26年4月より盛岡赤十字病院外科にお世話になっております。消化器外科、乳腺、甲状腺疾患など外科全般の疾患を担当させていただいております。患者様およびその家族へ十分な情報提供を行い、納得のいく治療を選択し、進めていくお手伝いをさせていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



あび こ ゆき と
安孫子 幸人 平成26年4月採用

4月1日より消化器科に勤務させていただいております。出身地は山形県です。平成9年岩手医科大学卒業後、岩手県内の病院で勤務しておりました。ここ5年は医大に勤務し、主に消化管の内視鏡検査・治療をしておりました。これまでの経験を生かし頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



いた ばし てつ や
板橋 哲也 平成26年4月採用

4月1日より盛岡赤十字病院外科に配属になりました板橋哲也と申します。
S49年2月12日生まれ、B型。
平成12年：岩手医科大学を卒業し第一外科へ入局。
専門：大腸癌治療 腹腔鏡手術 薬物療法。
地域に貢献できるように精一杯がんばりたいと思っております。
どうぞよろしくお願い致します。



みつ おか たか ひろ
峰 貴浩 平成26年4月採用

4月1日より血液内科に勤務しております。岩手医科大学出身です。血液疾患の患者様でお困りの際にはご相談いただければ幸いです。よろしくお願い致します。



なか むら せい か
中村 聖華 平成26年4月採用

この度4月より岩手医科大学外科学講座より赴任してまいりました中村聖華と申します。平成21年に岩手医科大学を卒業後は岩手医科大学外科学講座に入局し、岩手医大で初期研修を終了し、盛岡赤十字病院、岩手医科大学等の勤務を経て、今春より再度盛岡赤十字病院で勤務させて頂く事となりました。外科医としてはまだまだ未熟で、多々ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



おい かわ りゅうのすけ
及川 龍之介 平成26年4月採用

今年4月から盛岡赤十字病院、整形外科に赴任した及川龍之介と申します。昨年までは県立中部病院で初期研修をしておりました。一戸先生、薄井先生の御指導のもと、責任感は重く、フットワークは軽く、皆様にご迷惑をおかけしないよう頑張りたいと思っております。至らぬ点は多々あると思っておりますがこれから何卒よろしくお願い致します。



ふる かわ せいたろう
古川 誠太郎 平成26年4月採用

麻酔科で後期研修させていただくことになりました。出身地は花巻市で、出身大学は岩手医科大学です。少しでも成長できるように努力していきたいと思っております。



病院庭園の桜
(撮影：門間 信博)



医療社会事業部看護師長
おだぎり ひろ え
小田切 宏恵

～入院によって生活や人生が途切れない医療へ～

この度、医療社会事業部看護師長として配属されました小田切です。地域医療連携、特に前方連携として地域の病院や施設の方々との連携強化するといった重大な役割をいただきました。日本は、病であれば病院に入院して治療することが当たり前となり、そのことから死も病院で迎え80%以上の方が病院でお亡くなりになります。さらに、日本の平均寿命と健康寿命の差は、約10年と言われ、長寿国と言われている日本は、亡くなる直前まで元気つまり、「びんびんころり」は幻想で何らかの介助を受けながら最期10年を過ごしているのが現状です。今、私たち病院に課せられている役割は、「病気を治すことをゴールとする医療」から健康寿命をのばすために「生活を支える医療」であると思っております。日々、退院される患者さまやご家族の皆様にもふれ、入院した時から退院後の生活がより自分らしく継続されることを目標にした支援が急務と痛感しております。入院環境は、感染の危険・寝たきりなどが長引く依存状態・治療優先の生活スケジュールなど入院生活そのものが、退院を困難にすることも多いと言えます。地域連携をすすめるために、盛岡赤十字病院を支えていただいている皆様と①情報共有化②よりスムーズな患者紹介システムの充実③院内連携強化を目標に、「かかりやすい病院」を目指していきたいと思っております。

研修医紹介



しょうづしま あき こ
小豆嶋 明子 平成26年4月採用

今年の春から盛岡赤十字病院で研修させていただきます。出身地は盛岡市で、出身大学は栃木にある獨協医科大学です。4月から、生まれ育った大好きな盛岡で勤務することができ、大変嬉しく思っています。この2年間で医師に必要な知識や医療技術を学び、女性の医師が活躍し必要とされる分野を見つけ、積極的に挑戦していきたいです。

ご指導よろしくお願い致します。



かね しろ しん すけ
金城 伸祐 平成26年4月採用

こんにちは、平成26年4月から初期研修医として働くことになりました金城伸祐です。出身は神奈川県で、出身大学は山形大学です。

将来、耳鼻咽喉科の医者となることを志しており、得意かどうかは不明ですが好きな分野は耳鼻咽喉科です。中学高校では洋弓をやっており、大学から弓道に転向した自称・弓好きです。体力は多少はある方だと自負しており、一生懸命頑張ろうと思えます。どうぞよろしくお願い致します。



うち だ ゆう た
内田 悠太 平成26年4月採用

4月より研修医として勤務しております、内田悠太と申します。

出身地：神奈川県

出身大学：秋田大学

趣味：旅行、柔道、映画鑑賞、一人カラオケ
小児科を志望しておりますが、この2年間は専門科に関わらず様々な分野について知識を深めたいと思います。盛岡赤十字病院で研修して良かったと胸を張って言えるよう、全力で研修に取り組もうと考えております。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



うすい よし たか
薄 善孝 平成26年4月採用

今年から2年間こちらで研修させていただきます。薄善孝と申します。今年から全診療科を網羅できるカリキュラムができたことに興味を持ち、こちらの病院で研修することにしました。岩手医大入学当初は外科志望ではありましたが、今はいろいろな分野の治療ができる医師になりたいと思っています。先生方からたくさんのことを学びたいと思いますので、ご迷惑をおかけするかと思いますが、これからよろしくお願い致します。



こ み りょう すけ
古味 良亮 平成26年4月採用

4月から初期研修医として働くことになりました、古味良亮と申します。出身は高知県で中学卒業まで高知県におり、高校生活は埼玉県で過ごしました。大学は岩手医科大学です。ひたすら北上している人生ですが第二の故郷、岩手県でじっくりと腰を据えて医療に従事したいと思えます。「若いうちの苦労は買ってでもしろ」がモットーです。やる気と体力には自信があります。まだ右も左もわからない未熟者ですが、どうぞご指導のほどよろしくお願い致します。



病院庭園の桜
(撮影：門間 信博)

当院医師PHS番号の公開を御希望の先生は、地域医療連携室までご連絡お願い致します。

地域医療連携室 担当：石橋

TEL 019-637-3312

e-mail renkei@morioka.jrc.or.jp

お世話になりました。



退職者

沼里 進	(院長)	平成26年3月31日付
村井 啓子	(副院長)	平成26年3月31日付
三浦 秀悦	(第二総合内科部長)	平成26年3月31日付
菊池 公二	(消化器科副部長)	平成26年3月31日付
古和田 周吾	(血液内科副部長)	平成26年3月31日付
中屋 勉	(外科副部長)	平成26年3月31日付
飯島 信	(外科副部長)	平成26年3月31日付
石田 和茂	(外科副部長)	平成26年3月31日付
菅原 敦	(整形外科副部長)	平成26年3月31日付
酒井 康行	(消化器科医師)	平成26年3月31日付
菅原 俊郎	(総合内科嘱託医師)	平成26年3月31日付

(なお、沼里進、村井啓子医師は常勤嘱託医として引き続き診療しております)